

気候市民会議の開催及び気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）の作成

1 概要

深刻化する地球温暖化を背景に、地球温暖化対策の動きは世界的に加速しています。

本市も、令和3年2月24日に「2050年ゼロカーボンシティ」を表明しました。

また、国の地球温暖化対策計画の改定を受け、令和4年4月には目標値を上方修正するかたちで武蔵野市地球温暖化対策実行計画を改定する予定です。

今後は今まで以上に、市民、事業者、市が地球温暖化の問題を自らの問題として強く認識し、一丸となって対策に取り組むことが求められています。

そのため、市民が地球温暖化対策について主体的に議論する場として、無作為抽出と公募により構成された気候市民会議を発足・運営します。

そして、同会議の議論を踏まえ、市民一人ひとりの環境配慮行動を示す気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）を作成するとともに、市民の意見を参考に市は支援の取組を行うことにより、市民の行動を後押しし、市民と市が協働して地球温暖化対策に取り組んでいく機運を醸成します。

※気候市民会議とは、フランスやイギリス等で2019年頃から開催されている会議で、市民が気候変動対策について話し合うもので、日本では札幌市や川崎市で開催。

2 参加者

無作為抽出と公募による市民、最大40名程度

3 内容

環境問題の現状について講師によるレクチャー、グループワーク等、気候変動対策等について市民目線で議論。全5回程度。予算 349 万 2 千円

4 スケジュール

4月 参加者募集

7月 第1回会議 会議テーマは検討中

8月～11月 2回～5回会議、意見のまとめ

12月 以降気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）の作成

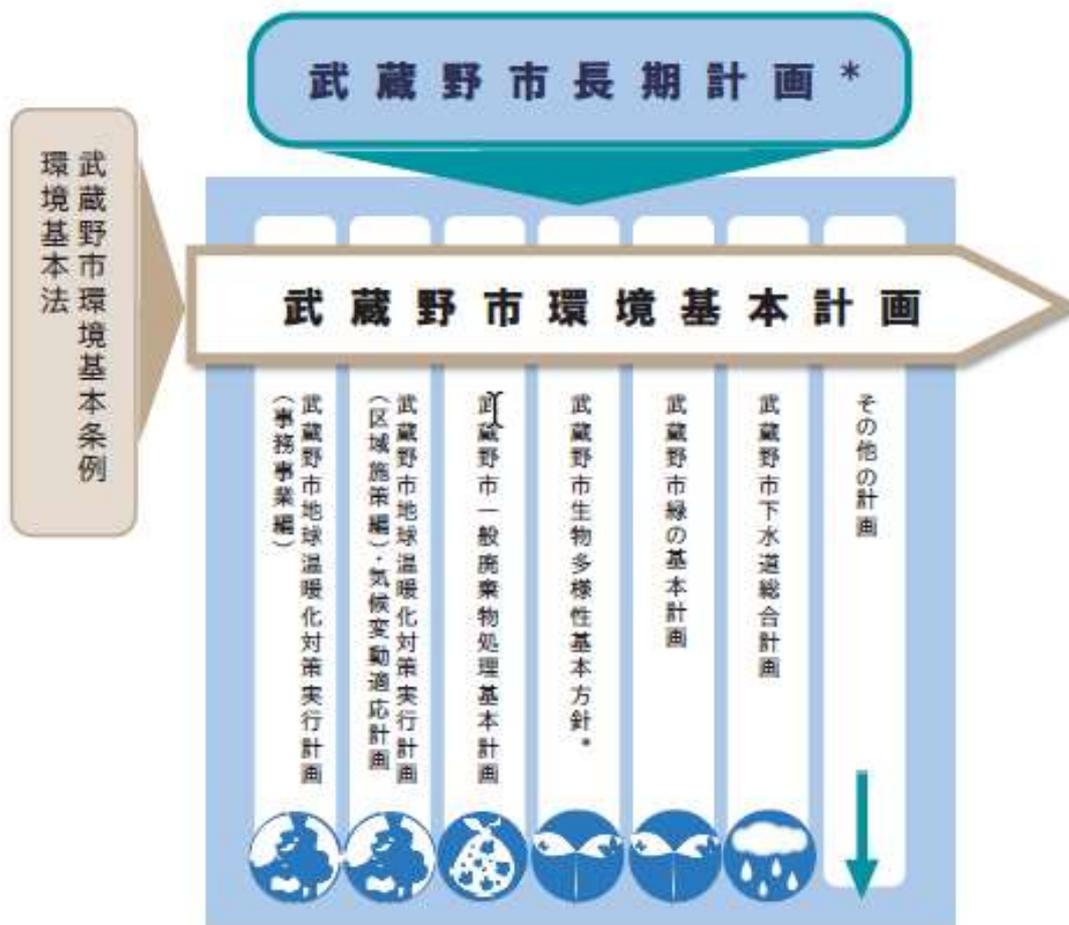
3月 上記プラン公表

5 実施体制

市環境部環境政策課計画係・環境啓発施設係（むさしのエコreゾート）

6 位置づけ

(1) 長期計画等との位置づけ



(2) 関連計画との位置づけ

